

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達さぼーとセンターあゆみ訪問支援室（居宅訪問型児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの日々の体調および成長に合わせた身体状況の変化、計画的な手術の予定などを踏まえながら、支援ポイントを見据え、柔軟かつ系統的な専門性の高い支援を、専門職員が提供している。	個々の利用児の体調やニーズに合わせて、遊びや支援の内容を工夫したり、訪問する時間帯を他に利用されているサービスの担当者と出会う時間にして情報共有を図るなどの工夫を取り入れている。	訪問支援の実施状況や内容等について、関係する職員間での共有を深める
2	園舎の保育室を利用して遊びの会を実施し、利用児と保護者が一堂に会することで、保護者同士の交流の機会を作っている。	職員を交えて保護者同士が情報交換や子育ての悩み・思いを共有し合える場を設けている。	利用児の体調をみながら、遊びの会の頻度を増やしていけるよう努める。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	居宅訪問を担当できる職員が限られている。	セラピストの資格を持つ職員、医療的ケアや運動発達面の専門性を備えた職員が少ない。	職員のスキルアップを図るため、研修参加や運動面や医療面等に課題のある子どもたちの療育に参画できる機会を増やしていく
2			
3			